

稲作ワンポイントアドバイス(No4)

令和3年7月1日
JA山口県長門統括本部
長門農林水産事務所農業部

1 生育等の状況（6月30日水稻定点調査結果より）※平年の調査データと比べ

	草丈	莖数	葉齢	葉色
コシヒカリ	平年並	平年並	平年並	平年並～やや淡い
ひとめぼれ	平年並	平年並	早い	濃い
きぬむすめ	平年並	多い	平年並	平年並～やや淡い
あきだわら	やや短い	平年並	やや早い	平年並

- ・5月上中旬植えのコシヒカリの節間伸長が始まりました（幼穂1mm以下）。
- ・5月中下旬植えのひとめぼれ・きぬむすめは中干しの時期となりました。
- ・セジロウンカの飛来を確認しました。トビイロウンカは未確認です。
- ・雑草（ヒエ・コナギ・クログワイ 他）のとりこぼしが散見されます。
- ・出穂期（ほ場のうち50%で穂が見えたとき）の予想（6/30現在）

品種	移植期	出穂期の予想	調査ほ場の出穂予想
コシヒカリ	5月上中旬	平年並	7/26～28

2 今後の管理のポイント

（1）コシヒカリ・ひとめぼれ

○肥培管理

●緩効性肥料（元肥一発肥料）の場合

- ・極端に葉色が淡い場合（葉色3.5以下）は、出穂前13日頃に、窒素量で1～1.5kg/10a程度、追肥を行いましょう。

●分施・穂肥一発肥料（穂づくり640）の場合

- ・穂肥は、1回目が早すぎると倒伏の危険性があり、2回目が遅すぎると（出穂前10日以降）食味低下のおそれがありますので、適期施用しましょう。
- ※ 施用量は長門大津稲作栽培指針（別冊）P. 1～2と下表を参照してください。

	分施（穂肥1回目）／穂づくり	分施（穂肥2回目）
コシヒカリ	出穂前18日頃（幼穂1cm）	出穂前13日頃
ひとめぼれ	出穂前20日頃（幼穂5mm）	出穂前13日頃

判断基準	葉色	莖数	散布時期	散布量
①	いつもより濃い	多い又は少ない	出穂前13日頃	窒素量1kg/10a
②	淡い（葉色板で3.5以下）	多い	暦どおり	1割程度増量
③	淡い（葉色板で3.5以下）	少ない	暦どおり	暦どおり

○水管理（地域の用水の状況や水利ルールに基づいて管理を行ってください）
 中干し後は「浅水」と自然落水（足跡の水がなくなる程度）を繰り返しまし
 ょう。出穂20日前（7月6日前後）から湛水管理を行いましょ



（2）きぬむすめ・ヒノヒカリ・あきだわら

○水管理（地域の用水の状況や水利ルールに基づいて管理を行ってください）

移植後20日頃になったら「間断かん水」を行いましょ

※除草剤散布後7日間の止水期間が終わってから実施のこと

茎数が18本/株程度になったら「中干し（田面に軽くヒビが入る程度干す）」を行いましょ

（水不足の地域では湿润状態を保つ管理）
 中干し後に急に湛水すると根を傷めるため「走り水」を行い、その後は「浅水」と自然落水（足跡の水がなくなる程度）を繰り返しまし

（3）病害虫・雑草の管理等

- ・梅雨明け頃まではウンカ類の飛来が続くので、ほ場での発生や病害虫情報に注意してください。
- ・雑草が多いほ場では、使用時期・方法を必ず確認の上、後期除草剤で早めの処理を行いましょ
- ・カメムシの加害抑制のため、出穂2週間前までに畦草を刈り終えましょ
- ・6/17 山口県病害虫防除所

	発生時期	発生量	今後の予想
葉いもち	早い	やや多い	平年並
セジロウンカ	やや早い	やや少ない	平年並
トビイロウンカ	未確認 (平年初確認7/10)	—	—

長門の水稻の病害虫発生状況、生育状況等をLINEにより発信しています。



「JA山口県 長門 米作り」